

日本化学会第90春季年会(2010)講演申込要項

第90春季年会実行委員会

会期	平成22年3月26日(金)～29日(月)
会場	近畿大学本部キャンパス(東大阪市小若江3-4-1)
実行委員長	柳 日馨(大阪府立大学大学院理学系研究科・教授)
内容	アカデミック・プログラム(AP:一般研究発表)(口頭・ポスター) アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)(口頭・ポスター) 特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座・その他委員会企画ほか
重要な日程	講演申込期間 平成21年11月17日～12月1日 24時 予稿原稿提出期間 平成22年1月7日～1月21日 24時 参加予約申込期間 平成22年2月1日～2月27日 24時 プログラム公開日 平成22年2月22日(予定) 講演予稿集発行日 平成22年3月12日(予定)
問合先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 TEL: 03-3292-6163 FAX: 03-3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp URL: http://www.csj.jp/nenkai/

標記年会の研究発表を以下のように募集いたします。講演申込要項は、毎回見直しが行われ変更されていますので、必ずご確認ください。

1 講演申込について

1.1 はじめに

- ・アカデミック・プログラムの講演は未発表の内容に限ります。
- ・アドバンスト・テクノロジー・プログラムの講演は既発表、特許化・製品化済みの発表、具体的な構造を明示しない発表も可能です。

1.2 申込期間

平成21年11月17日～12月1日

講演申込完了時に発行される講演申込受付番号とパスワードを使用し、申込内容の訂正、削除することができます。訂正期間は以下のとおりです。

平成21年11月17日～12月2日17時

1.3 申込方法

春季年会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)上の講演申込フォームからお申し込み下さい。なお講演申込フォーム利用には大会コードの入力が必要です(大会コードは、Webフォームから取得してください)。

講演申込フォームが使用できない場合は、お早めに事務局にお問い合わせ下さい。締切間際ですと対応できかねる場合もございます。

1.4 申込完了の確認

講演申込が完了すると、講演1件ごとに講演申込受付番号とパスワードを発行します。また、申込内容を申込時に入力したE-mailアドレスに通知します。申込者は講演申込受付番号が発行されていることと通知が来ていることを必ず確認して下さい。通知未着の場合には12月3日までに必ず事務局までE-mailにてお問い合わせ下さい。期限後のお

問合せには対応できませんのでご注意下さい。

1.5 講演者の資格

アカデミック・プログラム

講演申込者及び講演者(登壇者)は、講演申込時点において日本化学会の個人会員に限り(講演申込は、会員1人につき1件です)。

アドバンスト・テクノロジー・プログラム

講演申込者及び講演者(登壇者)は、日本化学会会員に限りません。

- ・未入会の方は講演申込の前に日本化学会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/>)より入会手続を完了させて下さい。
- ・連名者(共筆者)は日本化学会会員に限りません。
- ・講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共筆者)の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。

1.6 発表形式と講演時間

アカデミック・プログラム

A 講演 10分(講演7分・討論2分・交代1分)
B 講演^{*1} 20分(講演15分・討論4分・交代1分)
ポスター 45分

アドバンスト・テクノロジー・プログラム^{*2}

C 講演 20分(講演15分・討論4分・交代1分)
D 講演 30分(講演25分・討論4分・交代1分)
ポスター 45分～60分(予定)^{*3}

* 1...B 講演の発表資格は正会員もしくは博士後期課程の学生会員とする。

* 2...セッションにより募集する発表形式が異なります。詳細は2講演申込分類をご覧ください。

* 3...セッションにより異なります。

1.7 発表言語

日本語もしくは英語

1.8 発表用スライド(資料)

プレゼンテーション時に使用するスライド(資料)の言語は可能な限り英語で作成して下さい。

1.9 発表機材

口頭講演

すべての会場に液晶プロジェクター・RGB ケーブル・PC 切替機を用意します。

講演者はPCを持参して下さい。またトラブル対策としてバックアップファイル(ウィルスのチェック及びOS互換性に関してチェック済みであることを)USBメモリでご用意下さい。

ポスター

ポスターボード(縦180cm×横90cm〔予定〕)と画鋲を用意します。

1.10 採否の決定

申込みいただいた講演の採否及びプログラム編成(口頭(A講演・B講演もしくはC講演・D講演)ポスター)の発表形式、発表部門、日時などは第90春季年会実行委員会に一任とします(希望と異なる場合もあります)。

12月中旬に各部門別にプログラム編成を行いますので、申込者はこの時期、プログラム編成委員からの問合せになるべく対応できるようご配慮下さい。

1.11 講演番号の通知

1月上旬に郵便で申込者宛に通知します。通知未着の場合には平成22年1月11日~15日の間に必ず事務局までE-mailにてお問い合わせ下さい。予稿原稿提出には講演番号が必要です。

1.12 予稿原稿の作成と提出

2講演予稿原稿(1114ページ)の項目をご覧ください。

1.13 講演申込の取消

講演申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたすだけでなく、前後の講演者に対しても迷惑がかかります。社内審査がある場合は、早めに手続きを開始し、必ず発表許可を取ってから申し込んで下さい。また、学生が申込者の場合は、講演申込内容に関して指導教員の確認を受けてから申し込んで下さい。

理由の如何にかかわらず、講演予稿原稿の提出後の差し替え、取り下げは認められません。

1.14 講演申込内容の公表

採択された講演申込内容は、連絡先に関する部分を除き、講演プログラムやデータベースの形で下記により公開・無償配布します。なお、公開したプログラムに変更が生じた場合は春季年会ウェブサイトにて告知します。

- ・講演プログラム 平成22年2月下旬
- ・プログラム検索(携帯サイト) 平成22年3月上旬
- ・日本化学会研究者データベース 会期終了後
- ・JST JDreamII 会期終了後

1.15 各種講演賞

春季年会では「学生講演賞」、「優秀講演賞(学術)」、「優秀講演賞(産業)」の3種類の講演賞を設けております。各賞の対象者・発表形式・対象部門等は以下のとおりです。是非この機会に奮って応募下さい。

なお、従来の優秀講演賞及び講演奨励賞は名称を優秀講演賞(学術)、優秀講演賞(産業)と変更しておりますが、応募条件及び選考基準については変更しておりません。優秀講演賞(産業)については1118ページに別途お知らせがありますのでそちらをご覧ください。

学生講演賞

対象者 博士後期課程の学生会員
発表形式 口頭B講演
対象部門 アカデミック・プログラムの全部門
審査申込 上記条件を満たす講演すべてが対象となるため申込の必要はありません。

授与委員会 第90春季年会実行委員会

優秀講演賞(学術)

対象者 平成22年4月1日時点で満36歳に達していない正会員
発表形式 口頭B講演
対象部門 アカデミック・プログラムの全部門
審査申込 講演申込時に審査を希望する旨を申請して下さい。

授与委員会 第90春季年会実行委員会

優秀講演賞(産業)

対象者 当該年会開催年の4月1日現在において満40歳に達していない講演発表者(所属は産学を問わない)
発表形式 口頭A講演・口頭B講演
対象部門 12.高分子・15.材料化学・16.材料の機能
17.材料の応用・18.資源利用化学
審査申込 講演申込時に審査を希望する旨を申請して下さい。

授与委員会 日本化学会産学交流委員会

1.16 アジア国際シンポジウム

学術研究活性化委員会では、春季年会の活性化を目的として、我が国とアジア諸国の産学の若手研究者によるアジア国際シンポジウムを開催することになりました。開催予定のディビジョンは下記のとおりです。

1. 光化学
2. 理論化学・情報化学・計算化学
3. 無機化学
4. 天然物化学・生命科学
5. 分析化学
6. 電気化学
7. ナノテク・材料化学
8. コロイド・界面化学
9. 環境・安全化学・グリーンケミストリー・サステナブルテクノロジー

2 講演予稿原稿

2.1 提出期間

平成 22 年 1 月 7 日 ~ 1 月 21 日

締切期日までに講演予稿原稿を提出しない場合は講演を中止したものとしますのでご注意ください。

2.2 提出方法

講演予稿原稿を PDF ファイルで作成の上、春季年会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) 上の予稿原稿投稿フォームから提出して下さい。提出の際には大会コード、講演申込受付番号、講演番号が必要です(大会コードは、Webフォームから取得してください)。

フォームが使用できない場合は、お早めに事務局にお問い合わせ下さい。締切間際ですと対応できかねる場合もございます。

受理後の原稿の訂正はできません。また、提出された原稿は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

2.3 作成方法

春季年会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) 上で公開するテンプレート(雛型)をお使いいただき、PDF ファイルを作成して下さい。

講演予稿原稿には和文・英文の演題・研究場所・発表者氏名及び和文(または英文)の本文に加え、英文のアブストラクト(本文が和文の場合のみ)英文のキーワードを入れ、作成して下さい。予稿集はモノクロで印刷され、1 講演あたりのサイズは B5 判の 1/4 です。図表・写真等を入れる場合には、この点を考慮して下さい。

詳細は講演番号通知に同封の「予稿原稿作成要項」、もしくは春季年会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)をご覧ください。

3 講演申込分類

3.1 アカデミック・プログラム

講演申込分類は年会ごとに見直しを行っております。講演申込分類の誤りはプログラム編成ひいては会期中の運営にも多大な支障をきたしますので必ずご確認下さい。

1. 化学教育・化学史

A. 初等中等教育(実践例など) B. 大学教育(実践例など) C. 化学史・化学技術史、D. 化学入試問題の評価、E. その他

2. 物理化学 - 構造

A. マイクロ波分光、B. 赤外・ラマン分光、C. 電子スペクトル・電子分光・電子状態、D. 磁気共鳴、E. 結晶構造、F. 固体表面、G. その他

3. 物理化学 - 物性

A. 気体、B. 液体・溶液、C. 液晶・ガラス、D. 相平衡・相転移、E. 表面・薄膜・ナノ物性、F. クラスタ・ナノチューブ、G. 電導体、H. 磁性体、I. 光物性・その他

4. 物理化学 - 反応

A. 気相反応(機構・速度・ダイナミクス) B. クラスタ、C. 光化学反応(液相・固相・表面・膜) D. スピン化学・磁場効果、E. 電子移動・エネルギー移動、F. 放射

線化学、G. 電気化学・界面化学、H. 非平衡系反応、I. その他

5. 無機化学

A. 無機化学(1. 反応、2. 合成、3. 構造・物性) B. 固体化学(1. クラスタ化合物・包接化合物・ゼオライト化合物、2. 低次元構造化合物、3. 三次元構造化合物、4. 無定形物質) C. 溶液化学、D. 放射・核化学、E. 希土類化合物、F. その他

6. 錯体化学・有機金属化学(主たる金属元素記号を 1 つ記入のこと)

A. 錯体化学(1. 合成、2. 構造、3. 反応、4. 物性、5. その他) B. 有機金属化学(1. 合成、2. 構造、3. 反応、4. 触媒、5. 有機合成、6. その他) C. 生物無機化学、D. 材料関連化学、E. その他

7. 有機化学(主として物理有機化学的なもの)

A. 構造と物性(1. 分子構造、2. 立体化学、3. 共役系、4. 物性、5. 分子認識、6. その他) B. 反応機構(1. 反応性中間体、2. イオン反応・加溶媒分解など、3. ラジカル・電子移動・光化学反応など、4. 理論計算、5. その他) C. その他

8. 有機化学 - 反応と合成(一般的反応と合成に関する研究)

A. 脂肪族・脂環式化合物、B. 芳香族化合物、C. 複素環化合物、D. ヘテロ原子化合物、E. 有機金属化合物(主たる金属元素記号を 1 つ記入のこと) F. 有機光化学、G. 有機電子移動化学、H. ハイスループット合成(1. コンビケム・固相合成、2. 新反応場(フロー法、マイクロ波、固定化法、反応媒体))、I. その他

9. 天然物化学(構造、合成、生合成など)

A. 脂肪酸関連化合物、ポリフェノール(ポリ環状エーテル、マクロリド、エンジン系化合物も含む) B. テルペン、ステロイド、C. アルカロイド、D. 糖、E. アミノ酸、ペプチド、F. コンビケム・固相合成、G. その他

10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー

A. 機能性低分子・分子認識(錯体、ポルフィリン、補酵素、イオン、ラジカルなど) B. 核酸(モデル化合物を含む) C. タンパク質・酵素(タンパク質工学、酵素工学、ペプチド、モデル化合物を含む) D. 糖(糖鎖工学、モデル化合物を含む) E. 脂質・生体膜(モデル化合物、モデル膜を含む) F. 細胞(バイオプロセス、細胞工学、代謝工学、培養工学を含む) G. 生命情報(ゲノム、遺伝情報発現など) H. 環境バイオテクノロジー・食品バイオテクノロジー・バイオセンサー、I. メディカルバイオテクノロジー、J. 生体触媒反応、K. その他

11. 分析化学

A. 原子・分子スペクトル分析、B. レーザー分光分析(フォトサーマル、蛍光、時間分解、顕微分光など) C. X 線分析、D. センサー、E. 電気化学分析、F. 質量分析、G. フローインジェクション分析(FIA) H. 液体クロマトグラフィー(LC) I. ガスクロマトグラフィー(GC) J. 電気泳動分析、K. マイクロ・ナノ分析(マイクロチップ・ウェル、超微粒子、単一分子検出など) L. 分離・抽出・

分析試薬の設計、M. プローブ顕微鏡、N. 界面分析、O. 標準試料・標準化、P. ケモメトリックス、データ解析法、Q. 環境・地球化学関連分析、R. 臨床・医療・法医学分析、S. バイオ分析（核酸、遺伝子、タンパク質、細胞、イメージングなど）、T. 食品・医薬品分析、U. 材料分析・材料解析（表面分析を含む）、V. 有機・無機・金属・複合材料分析など、W. その他

12. 高分子

A. 高分子合成（1. ラジカル、2. イオン、3. 配位触媒、4. 開環、5. 重縮合・重付加、6. ブロック・グラフト共重合・特殊構造高分子、7. その他）B. 高分子反応、C. 高分子構造・物性、D. 機能性高分子（1. 高分子触媒、2. 電気・電子・磁性、3. 光、4. 情報・記録、5. バイオメディカル、6. 膜・分離、7. ゲル、8. その他）E. 高性能高分子、F. 生体高分子、G. 高分子工業、H. その他

13. 触媒

A. 表面・吸着、B. 構造・物性・計算、C. 調製方法、D. 水素化・脱水素、E. 分解・改質・脱硫等、F. 酸化、G. 酸・塩基触媒、H. ゼオライト、I. メソポーラス物質、J. 環境触媒、K. 光触媒、L. 錯体・クラスター、M. 有機合成・重合、N. その他

14. コロイド・界面化学

A. 微粒子分散（1. サスペンション、2. 微粒子・ナノ粒子、3. 高分子コロイド、4. 界面電気現象、5. レオロジー、6. その他）B. 分子集合体（1. ミセル、2. 高分子溶液、3. 超分子・高次分子集合体、4. 液晶・ゲル、5. エマルション、6. その他）C. 組織化膜（1. 単分子膜・LB膜、2. 自己組織化膜、3. 二分子膜（ベシクル・リボソーム等）4. 界面物性（気液・液液）5. その他）D. 固体表面・界面（1. 表面構造と物性・機能、2. 吸着と触媒、3. 表面力・トライボロジー、4. マイクロファブリケーションとナノテクノロジー、5. その他）E. 新領域、F. 国際セッション（口頭講演（英語）のみ募集）

15. 材料化学

A. 製造法・組成・形態・物性（1. 製造法（ゾル・ゲル法など）2. 無機材料、3. 有機材料・複合材料、4. 高分子材料、5. 炭素、6. ガラス・アモルファス物質、7. 薄膜、8. 微粒子、9. その他（金属材料など上記以外の項目）

16. 材料の機能

A. 生体機能（1. 生体適合、2. DDS、3. リボソーム、4. 酵素、5. その他）B. 光化学機能（1. フォトクロミズム、2. 光化学増幅、3. 光硬化・分解、4. 無機・有機複合系、5. その他）C. エネルギー変換機能（1. 光電・圧電・焦電、2. 化学的変換、3. その他）D. 電子・磁気機能（1. 超伝導、2. 導電、3. 半導、4. 絶縁、5. 磁気、6. 光磁気、7. その他）E. 光学機能（1. 偏光、2. 変調・増幅、3. 非線形、4. その他）F. 分離機能（1. 輸送、2. 吸着、3. 膜、4. イオン交換、5. 包接、6. 光学分割、7. その他）G. その他

17. 材料の応用

A. センサー（1. 温度・湿度、2. 物理量（圧力・速度など）3. 成分、4. バイオセンサ、5. その他）B. 記録・

記憶（1. カラーハードコピー、2. 写真、3. 磁気記録、4. 光記録、5. 印刷、6. その他）C. 表示（1. CRT、2. 液晶、3. プラズマ、4. EC、5. EL、6. その他）D. 電子部品関連（1. 半導体、2. レジスト、3. 封止、4. 接続・実装、5. その他）E. 光学部材（1. レンズ、2. ファイバー、3. 非線形光学部材、4. その他）F. 電池・エネルギー（1. 一次電池、2. 二次電池、3. 太陽電池、4. 燃料電池、5. その他電池、6. 水素吸蔵合金、7. その他）G. 分離部材（1. 吸水ゲル、2. イオン交換、3. 選択透過膜、4. その他）H. 染料・塗料・インキ（1. 光硬化、2. キュアリング、3. 機能性色素、4. 分散、5. 光造形、6. その他）I. 接着剤・界面活性剤（1. ナノ粒子、2. 自己組織化膜、3. 表面・界面、4. 接着・粘着、5. その他）J. ライフサイエンス、K. 医薬・農薬、L. 環境材料（1. リサイクル、2. エコロジー、3. 環境調和、4. 劣化、5. 安定化、6. その他）M. 高性能材料（1. ハイブリッド、2. アロイ、3. ブレンド、4. ゾルゲル、5. 耐熱難燃性材料、6. 高強度高弾性材料、7. その他）N. その他

18. 資源利用化学

A. 石油（1. 石油化学、2. 石油精製、3. アップグレーディング、4. 転換・分解、5. 反応・触媒、6. その他）B. 石炭（1. 石炭化学、2. 石炭液化、3. 石炭ガス化、4. コールタール化学、5. 炭素材料、6. 分離・利用、7. 反応・触媒、8. その他）C. ガス化学（1. 天然ガス化学、2. 合成ガス化学、3. 反応・触媒、4. その他）D. 環境資源化学（1. CO₂ 捕捉、2. CO₂ 転換、3. 反応・触媒、4. その他）E. 再生可能資源化学（1. バイオマス、2. マリーンバイオ、3. 回収・再利用、4. 廃プラスチックの再資源化、5. その他）F. 海洋資源化学（1. 海水溶存資源、2. 海底資源、3. その他）G. 鉱物資源化学（1. 金属資源、2. 非金属資源、3. その他）H. 資源開発・管理（1. 分布調査、2. 保護、3. 利用、4. 回収、5. 省資源、6. その他）I. その他

19. エネルギーとその関連化学

A. エネルギー変換（1. 燃料電池、2. 太陽電池、3. 電気化学プロセス、4. 光電気化学、5. その他）B. エネルギー貯蔵（1. キャパシタ、2. 二次電池、3. 水素貯蔵、4. 相変化・構造変化、5. その他）C. エネルギーの高度利用（1. 光触媒、2. 省エネルギー素材、3. その他）D. 電気化学（1. 腐食防食、2. 固体電解質、3. 溶融塩、4. 電解合成、5. その他）E. 光化学（1. 光誘起電子移動、2. 励起状態と緩和過程、3. 光合成関連化学、4. レーザー誘起反応、5. 有機光化学、6. その他）F. 放射線化学・核化学・放電・プラズマ、G. 高温化学・燃焼・火薬、H. 超音波化学、I. その他

20. 環境・グリーンケミストリー、地球・宇宙化学

A. 地球化学・宇宙化学、B. 大気環境化学（1. 環境動態、2. 環境保全技術、3. 環境分析、4. その他）C. 水質環境化学（1. ~ 4. は上と同じ）D. 廃棄物・土壌環境化学（1. ~ 4. は上と同じ）E. 安全化学、F. グリーンケミストリー、G. 地球環境への材料の応用（1. 生分解・光分解、2. リサイクル、3. 海洋・砂漠・オゾン、4. その他）

H. 環境調和、I. 光触媒（1. 酸化還元反応、2. 親水化反応、3. 水分解、4. 環境改善、5. その他）J. その他

21. 理論化学・情報化学・計算化学

A. 電子状態、B. 化学反応、C. ダイナミクス、D. パイオ、E. 材料、F. シミュレーション、G. 数理化、H. 化学情報、I. その他

22. 有機結晶

A. 結晶の構造と物性、B. 分子配列制御、C. 分子認識、D. 動的分子挙動、E. 結晶中の反応、F. 結晶の機能と物性、G. その他

3.2 アドバンスト・テクノロジー・プログラム（ATP）

6年目を迎える第90春季年会のATPはその企画をさらに充実したものにいたします。企画概要及び発表を募集するセッション等につきましては11月号及び春季年会ウェブサイトにて詳細を掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

4 講演予稿集

4.1 発行日

平成22年3月12日

4.2 発行形式

DVD-ROM

参加登録費に含まれます（入会準備学部学生を除く）

冊子

参加登録費には含まれないので別途申請が必要です。

WEB

参加予約申込をし、期間内にお支払をされた方のみ春季年会ウェブサイトにて閲覧可能です。

4.3 収録内容

アカデミック・プログラム（AP）、アドバンスト・テクノロジー・プログラム（ATP）の各部門の一般講演、受賞講演、特別企画講演、特別講演の予稿。研究発表者索引。講演プログラム。

4.4 特許

講演予稿集をもって特許における公知日とされる方は、発行日以降権利が6ヵ月保留されることとなります。

特許を出願する際に必要な発表証明につきましては下記URLをご参照下さい。

<http://www.csj.jp/news/happyo-syomei.html>

平成12年よりインターネットでの公開内容も研究内容の公知に当たることになりました。春季年会での講演申込内容の公開時期については1.14講演申込内容の公表を確認して下さい。

4.5 著作権

講演予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったときは本会において検討の上、許可することとします。

5 参加登録

講演申込者・講演者（登壇者）・連名者（共筆者）の如何

にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。本年会の参加登録の概要は以下の予定です。詳細は化学と工業1月号にてご確認ください。

5.1 申込期間

平成22年2月1日～27日

*参加費等の支払い締切日は平成22年2月27日です。

5.2 申込方法

春季年会ウェブサイト（<http://www.csj.jp/nenkai/>）上の参加予約申込フォームからお申し込み下さい。なおフォーム利用には大会コードの入力が必要です（大会コードはWebフォームから取得してください）。

5.3 参加登録費

参加登録費は下表のとおりで、いずれも講演予稿集DVD-ROMが含まれます（入会準備学部学生を除く）

なお、講演予稿集（冊子）懇親会参加をご希望の場合には別途費用が発生いたします。

会員区分	予約	当日	課税区分
正会員	12,000円	14,500円	不課税
正会員割引*1	9,500円	9,500円	〃
学生会員	4,000円	5,500円	〃
学生会員割引*2	3,500円	3,500円	〃
教育会員	5,000円	6,500円	〃
教育会員割引*3	5,000円	6,500円	〃
ATP講演者（一般）	12,000円	14,500円	課税
ATP講演者（非会員学生）	6,000円	7,500円	課税
非会員	24,000円	25,500円	課税
入会準備学部学生*4	-	2,000円	課税

*1...満60歳以上で定職に就いていない方（通称：シニア会員）

*2...学部3年以内の方（専攻科1年以下の高専生を含む）（通称：ジュニア会員）

*3...化学と教育を購読する学生。

*4...研究発表を行わない非会員（未入会）の大学の学部学生及び高等専門学校の学生が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集DVD-ROMは含まない。

5.4 宿泊・交通について

本実行委員会では、宿泊・旅行等の斡旋はいたしませんので、各自の責任において手配をして下さい。

春休みの旅行シーズンでもありますので、早めの準備をお勧めします。

6 懇親会

6.1 日時

平成22年3月27日18時

6.2 会場

第90春季年会会場内を予定

6.3 申込方法

春季年会ウェブサイト（<http://www.csj.jp/nenkai/>）上の参加予約申込フォームからお申し込み下さい。なおフォーム利用には大会コードの入力が必要です（大会コードは、

Webフォームから取得可能)。懇親会のための申込みも可能です。

7 付設展示会

付設展示会への出展受付業務は化学工業日報社に委託しました。出展をご希望されるお客様は下記までお問い合わせ下さい。

化学工業日報社 事業局

〒103-8485 東京都中央区日本橋浜町 3-16-8

TEL: 03-3663-7931 FAX: 03-3663-2330

E-mail: n_doutsu@chemicaldaily.co.jp

URL: <http://www.chemicaldaily.co.jp/ent/>